

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は1年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。12月定例会では、18名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】



新たにできる公民館を 入曽の拠点に!

西塚 和音 (創造)



その他のテーマ

- ▶ 統廃合で失われた拠点を創る
- ▶ 圏央道開通に伴う経済効果は
- ▶ 橋の無料化で産業への影響は

◆入曽の拠点づくり

- ①人のにぎわいを創るには。
- ②入曽公民館の機能と役割は。
- ③旧入間小跡地をスポーツなどに供しては。
- ④公民館に人が集える場所を設けては。

生涯学習部長 ①まちのにぎわいには集客性のある企業の立地が不可欠だが、こうした点で



現在の入曽公民館と
旧入間小跡地

民館は地域住民が集い、さまざまな活動を行う拠点として、人のにぎわいの創出に一定の役割を果たすと考えている。

②生涯学習や社会教育の拠点としての役割はもとより、多くの世代が集う地域住民の交流拠点、災害時の防災拠点、さらに入曽地区センターを併設することで、入曽地区のまちづくりの拠点としての役割を果たすことが求められる。

③競技スポーツでの利用を前提としたグラウンドではなく、安全施設などないことからスポーツ大会などの利用は難しいが、サッカーの練習やキャッチボールなどの利用は可能。

④入曽地区自治会連合会からも多くの世代が集える交流拠点の設置について要望があり、地元で設置した検討委員会の中で検討していく。



子どもは宝 一人ひとりが輝ける教育を

太田 博希 (創造)



その他のテーマ

- ▶ 公立と民間の学童保育の今後
- ▶ 障害のある児童生徒への教育
- ▶ 元気な狭山を実現する計画案

◆公立と民間ノウハウによる学童保育室の充実
公立・民間の学童保育の情報交換の場づくりと民間ノウハウの活用は。

学校教育部長 直営の学童保育室は、定例的に支援員の会議を開催している。この会議に指定管理者が管理する学童保育室の支援員も参加するような機会を持ちたい。また、指定管理者は、



水富小第一・第二学童保育室

独自の事業など特色ある運営を心がけており、直営の学童保育室でも見習うべきものを積極的に取り入れ、運営の充実を図りたい。

◆介助員などの適正配置による円滑な学級運営
介助員の配置など特別支援学級・通常学級の課題解決策は。

学校教育部長 介助員は特別支援学級に配置しているが、緊急で特別な場合には、各学校の実態に応じて通常学級に在籍する児童生徒の支援をする場合もある。保護者からは通常学級への配置要望もあるが、現在、介助員は市独自に配置しており、通常学級にも介助員を配置すると多額の経費が必要となることから、市単独での配置は難しく、国や県の支援が必要と考えている。



住み慣れた地域で 自分らしく暮らせる社会を

加賀谷 勉 (公明党)



その他のテーマ

- ▶ 社会全体で認知症に取り組む
- ▶ 教育相談体制の充実を

◆認知症の国家戦略と狭山市の取り組み

①「認知症初期集中支援チーム」の設置の考え方と取り組みについてはどのようになるか。

②「若年性認知症」患者・家族の交流の場や就労支援などの支援体制の現状と課題をどのように認識しているか。

長寿健康部長 ①医療や介護の専門家で構成され、地域包括支援センターなどの関連機関や地域住民から得た情報に基づき、対象者への定期的な訪問などを行う。そして、認知症有無の評価や必要に応じて医療機関の受診を促すなど、潜在する認知症高齢者の早期発見、早期診断、早期対応に向け、定期的なチーム員会議により協議を行い、適切な医療および介護サービスにつなぐもの。狭山市では、28年度内の設置を予定し

ている。
②毎週水曜日の電話相談「認知症相談ホットライン」や本年度開設した「オレンジカフェ」は、若年性認知症の方も対象で、情報交換や交流の場として活用できる。就労支援は、病状の進行に応じて精神保健福祉手帳を取得し、福祉的就労などの支援を受けることも有効であると考えている。



狭山台団地内の
コミュニティカフェ



電話などでの安否確認 見守りサービスを

高橋 ブラックソク久美子 (無所属)



その他のテーマ

- ▶ 市営住宅を高齢者向けにして
- ▶ 高齢者用のネットワーク構築を
- ▶ 入曽駅前を特色ある温かな所に

◆高齢者の安否・見守り確認

①市営住宅での単身者の安否確認の実態は。
②福祉NPOなどにより、高齢者のために安否確認サービスを開始していただければ。

都市建設部長 ①市の緊急通報サービスは、市営住宅入居の75歳以上単身高齢者110名のうち、約20名が利用。状況確認は、管理人や近隣住民

などからようすがいつもと違った場合に連絡が入るので、その都度対応している。

長寿健康部長 ②有用性は認識しており、既に実施しているNPOや任意の団体の状況などを確認していくことが重要と考えている。

◆児童虐待

①狭山市の実態は。
②要保護児童対策地域協議会と市の連携は。
福祉子ども部長 ①26年度は、通報112件のうち児童虐待相談は50件で、身体的虐待11件、性的虐待1件、心理的虐待22件、育児放棄16件。
②こども課が調整機関となり、通報があったすべてのケースの報告と要保護児童に係るケースの進行管理などを行っている。

緊急時は
このボタンで
通報



緊急通報端末装置

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。
04-2953-1111 内線3313